

2学年国語科

1 使用教材

教科書及び副読本など
教科書 国語2(光村図書) その他 よくわかる国語の学習2(明治図書)・単元別漢字ノート2年(新学社) プリント(指導者作成)

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
①国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業に積極的に参加し、授業中よく聞き、意見を伝えようとする。 ・授業に関したことに興味・関心を持ち、自主的に学習を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の観察(態度・発表など) ・ワーク、ノート、プリントなどの提出状況 ・自己評価表
②話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを大切にし、聞き手にわかりやすく伝えようとする。 ・話し手の考えを自分の考えと比べながら聞き取ろうとする。 ・詩や文章を工夫して朗読しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表や意見の内容 ・音読 ・暗記暗唱 ・聞き取りテスト ・スピーチ
③書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが相手に伝わるような文章を書こうとする。 ・テーマに沿って自分の考えをまとめ文章に書き表そうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題作文・感想文 ・定期テスト ・ノート、プリントの記述 ・自己評価表 ・単元や作品ごとのまとめの文章や感想の記述 ・創作
④読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開・表現に注意して読もうとする。 ・文章に表れているものの見方や考え方をつかみ、自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト
⑤言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きができる。 ・ことばのきまりがわかる。 ・文字を丁寧に正確に書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・漢字や文法の小テスト ・プリント・単元のまとめプリント ・書写の課題作品

3 学習計画

各単元	主な学習内容
詩 「明日」 小説 「アイズプラネット」 古典「枕草子」 一学期 書く「説明のしかたを工夫しよう」 話す・聞く「要点を整理して聞き取ろう」 説明文「やさしい日本語」 話す・聞く「印象に残る説明をしよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品から好きな表現を見つけ、気持ちが変わるように朗読する。 ・ 詩で使われている表現技法を確認する。 ・ 作品に表れているものの見方や考え方について自分の考えを持つ。 ・ 登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して作品を読み取る。 ・ 作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べる。 ・ 観点を決めて情報を整理し、伝える事柄の特徴や共通点・相違点などを明確にして書く。 ・ 伝えたい事柄が効果的に伝わるように、説明のしかたを工夫する。 ・ 意味を理解し、使い方を学ぶ。 ・ 話の要点や順序を整理しながらメモを取る練習をする。 ・ 人に情報を伝えるために大事なことを考える。 ・ 文章の全体と部分の関係、具体的事例などに注意し、筆者の主張を読み取る。 ・ 論理的でわかりやすい構成を考えて説明する。 ・ 資料や機器を活用し、写真や図表を効果的に組み合わせて説明する。

	<p>漢字「熟語の構成」 短歌「新しい短歌のために」 短歌十二首</p> <p>文法1「単語をどう分ける？」</p> <p>情報「メディアと上手に付き合うために」</p> <p>小説「盆土産」 書写</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熟語の構成を知り、使い方を学ぶ。 ・ 短歌の形式を知る。 ・ 筆者の鑑賞文を読み味わい短歌への理解を深めリズムに親しむ。 ・ 短歌を歌われている情景や作者の思いを想像しながら読み、表現について学ぶ。 ・ 自立語について学び、活用する自立語(動詞形容詞形容動詞)、活用しない自立語(名詞副詞連体詞接続詞感動詞)について学ぶ。 ・ テレビやインターネットの特徴を理解し、メディアとの付き合い方について考える。 ・ メディアの特性や違いに注意しながら情報を集める。 ・ 情報を比較したりまとめたりする中で、自分の考えを深める。 ・ 登場人物の描写に注意して、それぞれの人柄や心情を読み取る。 ・ 行書を丁寧に書く。(鉛筆の持ち方、姿勢等基本を身につける)
2 学 期	<p>随筆「字のないはがき」</p> <p>書く「気持ちを込めて書こう」</p> <p>評論「君は『最後の晩餐』を知っているか」</p> <p>古典「扇の的一『平家物語』から」「仁和寺にある法師—『徒然草』から」</p> <p>古典「漢詩の風景」</p> <p>文法2「走る。走らない。走ろうよ。」</p> <p>書写</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の言動や様子を描いた表現に着目し、その人柄や心情をとらえる。 ・ 父親に対する筆者の思いを読み取り、自分の考えをもつ。 ・ 手紙の書き方について理解し、相手や目的に応じた手紙を書く。 ・ 相手の意見を受け入れながら、自分の意見を述べる。 ・ 使われている言葉や表現の工夫に注意しながら、筆者のものの見方や考え方を読み取る。 ・ 登場人物の心情を想像しながら作品を読み、古典に描かれたものの見方や考え方を知る。 ・ 漢詩を読み、詩に歌われている情景を想像し、昔の人の心情に触れる。 ・ 用言の活用について学び、動詞形容詞形容動詞の活用について理解する。 ・ 行書を丁寧に書く。(鉛筆の持ち方、姿勢等基本を身につける)
3 学 期	<p>書写</p> <p>話す聞く「話し合って考えを広げよう」</p> <p>論説文「モアイは語る」</p> <p>書く「立場と根拠を明確にして書こう」</p> <p>漢字「同じ訓・同じ音を持つ漢字」</p> <p>小説「走れメロス」</p> <p>文法「一字違いで大違い」</p> <p>言葉「方言と共通語」</p> <p>漢字「送り仮名」</p> <p>随筆「言葉の力」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行書を丁寧に書く。(筆の持ち方、姿勢等基本を身につける) ・ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら自分を広げる。 ・ 根拠となる事実を確かめながら、文章の構成や表現のしかたとらえる。 ・ 立場とそれを支える根拠を明確にして構成を工夫しながら意見文を書く。 ・ 同音異義語について学び、意味の違いを考えて使い分ける。 ・ 登場人物の行動や考え方について自分の考えを持つ。 ・ 描写や会話に着目しながら登場人物の人物像の変化を味わう。 ・ 付属語について知り、助詞助動詞について学ぶ。 ・ 地域による言葉の違いを知り、自分たちの言葉について考える。 ・ まぎらわしい送り仮名について学ぶ。 ・ 言葉についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。

4 学習方法についてのアドバイス

学 習 方 法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は教科書とノートを開け、先生の話を中心して聞こう。 ・黒板に書いたことや自分で考えたことをノートに工夫してまとめよう。 ・授業では積極的に音読、発言しよう。
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習ったところは、ノートを読み返すなどして復習しよう。 ・次の日の授業の単元を必ず音読しよう。 ・単元別漢字を使って、漢字練習を進めよう。